

鶴居村立幌呂小学校・鶴居村立幌呂中学校

閉校式・閉

閉校式は、村上明寛教育長の閉校宣言の後、大石正行村長が式辞として、両校の歩みを振り返りながら、学校教育活動を支えてこられた保護者や地域の皆様へ感謝の気持ちを述べました。また、御来賓の北海道教育庁釧路教育局長泉野将司様、鶴居村議会議長松井廣道様からは、閉校を迎えた地域や保護者の皆様の気持ちに心をお寄せいただくとともに、幌呂の子供たちへ励ましの言葉をおかけいただきました。

その後、村上教育長から歴代校長へ感謝状が贈呈され、両校の湯川朋広校長と秋山豊校長、両校PTAの大滝篤史会長と武藤潤会長がそれぞれ感謝の言葉を述べられました。

そして児童生徒を代表して、幌呂中学校生徒会

長の上田美月さんが、学校生活の思い出を語り「これからは繋がる大切な経験をたくさんさせていただいた」と感謝の言葉を述べるとともに、「幌呂の学校で学んだことを生かしこれからも頑張っていきたい」と力強く語ってくれました。

式は、両校にゆかりのある280余名の方々にご参加をいただき、厳かでありながらも温かみのある雰囲気の中で進み、幌呂小学校105年、幌呂中学校77年の歴史を閉じる式典を、多くの方々のご協力のもとで滞りなく終えることができました。

閉校式の様子は右記QRコードよりご覧いただけます。



校を惜しむ会

閉校を惜しむ会は、地域の方々や両校の卒業生、教職員など260余名の方々にご参加をいただき、幌呂農村環境改善センターと幌呂中学校体育館の2会場をオンラインで結びながら開催されました。

会は、幌呂小・幌呂中閉校事業協賛会の皆様が企画・運営をしていただき、大瀧篤史協賛会長挨拶、参会者代表挨拶の後、在校生への記念品の贈呈、歴代PTA会長への感謝状贈呈が行われました。

武藤清隆幌呂連合会長のご発声により牛乳で乾杯し、アトラクションでは、幌呂小・中学校の児童生徒の「よさこいソーラン」が披露され、参加者から盛大な拍手が沸き起こりました。続いて、両校を卒業した方など6名が、万感の思いを胸に

当時の思い出を語っていただきました。

さらに、幌呂小学校の百周年記念歌「幌呂の歌」を作成していただいたヒートボイスによるミニライブも行われ、ライブの最後には両校の児童生徒と一体となって「幌呂の歌」を熱唱し、会場は大きな感動に包まれました。

最後に幌呂小学校百周年記念事業協賛会で会長を務められた吉田保博様から閉会のご挨拶をいただき、惜しむ会を閉じました。

幌呂地域で歴史と伝統を築いてきた両校を閉じる寂しさを乗り越え、幌呂の子供たちの未来にエールを贈る素敵な会になりました。惜しむ会の様子は右記QRコードよりご覧いただけます。

